



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

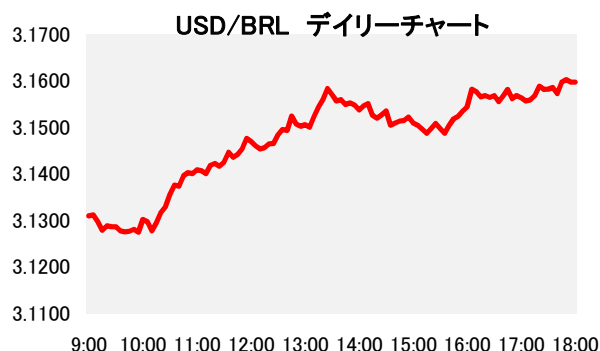
1. マーケット・レート

			9月19日	9月20日	9月21日	9月22日	9月25日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1360	3.1340	3.1380	3.1250	3.1600	+0.0350
	BRL/JPY	Spot	35.58	35.82	35.84	35.84	35.35	-0.49
	EUR/USD	Spot	1.1994	1.1895	1.1939	1.1950	1.1847	-0.0103
	USD/JPY	Spot	111.56	112.21	112.48	111.99	111.70	-0.29
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	7.301	7.291	7.258	7.230	7.226	-0.004
	Future	1Year(p.a.)	7.252	7.218	7.175	7.153	7.159	+0.006
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.271	2.330	2.332	2.395	2.561	+0.166
	USD	1Year(p.a.)	2.389	2.454	2.472	2.517	2.605	+0.088
株式	Bovespa指数	75,974.19	76,004.15	75,604.38	75,389.75	74,443.50	-946.25	
CDS	CDS Brazil 5y	178.42	202.25	203.42	201.28	205.35	+4.07	
商品	CRB指数	182.578	184.634	183.396	183.569	184.609	+1.04	

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

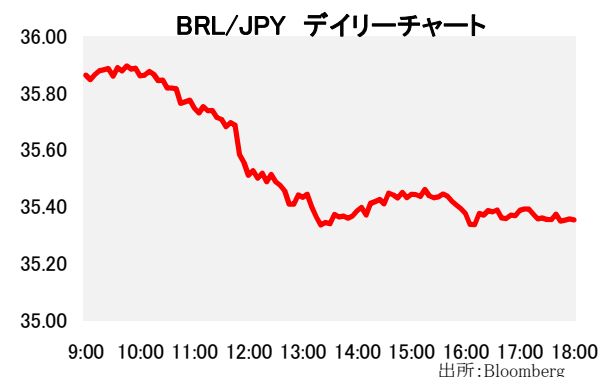
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	-0.08%	-0.07%	-0.01%
Federal Debt Total	--	3404b	3341b
貿易収支(週次)	--	\$1270m	\$1080m
(米)シカゴ連銀全米活動指数	-0.25	-0.31	0.03
(米)フィラデルフィア連銀製造業活動	11.5	21.3	17.0



3. 要人コメント

エバンス シカゴ連銀総裁	緩和解除における次のステップを踏む前に、賃金と物価の上昇圧力が高まっていることを示す明確な兆候を目にする必要があるだろう。
-----------------	---



4. トピックス

- 本日のリアルは日中高値となる3.1240で寄り付いた。週末の独立総選挙ではメルケル首相率いる与党派が勝利したものの圧勝には至らず。連立協議が難航するとの見方から市場の不透明感が増す中、北朝鮮の外相がトランプ米大統領の発言が宣戦布告にあたることを述べたことで地政学的な懸念が再燃。リスク資産売りの動きからリアルはじりじりと3.15台半ばまで反落した。引け間際に本日の安値となる3.1610をつけ、結局3.1600でクローズ。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.60%から0.68%に、2018年は2.20%から2.30%にそれぞれ上方修正された。インフレ率予想は2017年が3.08%から2.97%に、2018年は4.12%から4.08%にそれぞれ下方修正された。為替レートは2017年末が3.20から3.16へリアル高方向に修正され、2018年末は3.30に据え置かれた。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。